



2026年 7月 3日

JFE 建材株式会社

-RC・SRC 造向けのデッキ合成スラブ用デッキプレート- 「QL75-4000RC」を販売開始


JFE 建材株式会社(以下、JFE 建材)は鉄筋コンクリート造建物(以下RC造)向けの新商品「QL75-4000RC」を開発し、販売を開始しました。

【本製品の開発背景】

QL デッキは鉄骨造建物に広く採用していただいておりますが、RC 造建物に採用いただける機会は稀でした。

この度開発した「QL75-4000RC」は幅広い用途でお使いいただけるよう、既存のRC造向け仕様と比べて適用範囲を拡大し、採用の間口を広げつつ床構築コストの大幅ダウンを可能にしました。また、床の大幅な軽量化により、基礎・躯体の設計合理化にも寄与します

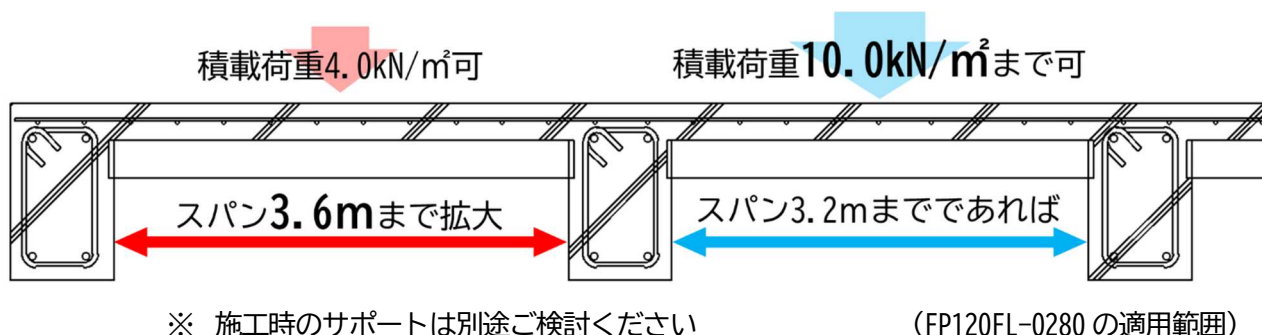
【QL75-4000RC の関連技術】

 <p>ASSESSMENT OF TECHNOLOGY FOR BUILDING CONSTRUCTION</p> <p>GBRC 性能証明 第 26-01 号</p> <p>建築技術性能証明書</p> <p>技術名称：JFE 建材のデッキ合成スラブ工法 -RC 梁または SRC 梁とデッキ合成スラブの接合工法-</p> <p>申込者：JFE 建材株式会社 代表取締役社長 橋本 直政 東京都港区港南 1 丁目 2 番地 70 号 品川シーズンテラス 11 階</p> <p>技術概要：本技術は、QL デッキ合成スラブと RC 梁および SRC 梁との接合方法に関する技術である。</p> <p>開発趣旨：「QL デッキ」は、合成スラブ構造用デッキプレートとして開発された型枠を兼用した構造部材である。本技術は「QL デッキ合成スラブ」と RC 梁および SRC 梁との接合について、一般的に用いられている「梁幅を 30mm ふかしてデッキ先端を埋め込む接合方法」と同等の構造性能を有する接合方法として開発したものである。</p> <p>当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。</p> <p>2026 年 4 月 30 日 一般財団法人 日本建築総合試験所 理事長 川瀬 博</p> <p>記</p> <p>証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。 資料 1：JFE 建材のデッキ合成スラブ工法 性能証明のための説明資料 資料 2：JFE 建材のデッキ合成スラブ工法 設計施工指針 資料 1 には、本技術の目的性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。 資料 2 は、本技術の設計施工指針であり、適用範囲、使用材料、設計方法、施工手順などが示されている。</p> <p>証明内容：申込者が提案する「JFE 建材のデッキ合成スラブ工法 設計施工指針」に従って設計・施工されたデッキ合成スラブと RC 梁および SRC 梁との接合部は、同指針で定める耐力および変形性能を有する。</p>	<p>認定書</p> <p>国住参建第 3086 号 令和 7 年 12 月 15 日</p> <p>JFE 建材株式会社 代表取締役社長 橋本 直政 様</p> <p>国土交通大臣 金子 恭之</p> <p>下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項 (同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第 2 条第 7 号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号 (床：2 時間 (第一号)、1 時間 (第二号))の規定に適合するものであることを認める。</p> <p>記</p> <ol style="list-style-type: none"> 認定番号 FP120FL-0280 認定をした構造方法等の名称 普通コンクリート・デッキプレート造床 (合成スラブ) 認定をした構造方法等の内容 別添の通り <p>(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。 令和 7 年 10 月 1 日より大臣印の押印が廃止されております。</p>
<p>GBRC 性能証明 第 26-01 号</p>	<p>大臣認定(耐火構造床二時間) FP120FL-280</p>

【QL75-4000RC の特長】

(1) 単純支持でスパン 3.6m

事務用途を想定し、RC 梁間スパンを 3.6m まで拡大し、許容積載荷重 4.0kN/m²で設計できるようになりました。また、スパン 3.2m 以下の場合 10.0kN/m²に対応可能です。



(2) のみこみ 10mm 可

これまで工業会仕様は RC 梁に 30mm 以上のみこませることが必須でしたが、QL デッキはのみこみ 10mm 以上で設計いただけます。これにより梁全体がスリムになり梁の構築コスト、建物重量を低減できます。

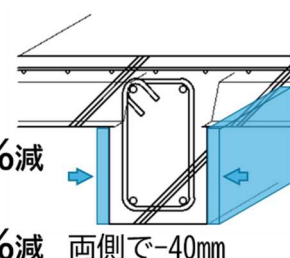
のみこみ30mm⇒10mmで

梁:300×600の場合

コンクリート量 9.1%減

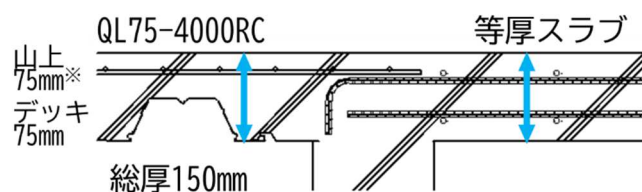
梁:400×800の場合

コンクリート量 7.5%減



(3) 床総厚 150mm

QL デッキ高さ 75mm+山上コンクリート厚 75mm で設計できるようにしました。これにより等厚スラブ 150mm と接続する際に余計な段差やふかしが生まれずに、経済的な設計ができます。



※参考：QLデッキについて

「QLデッキ」は、デッキプレートが型枠材と構造材の機能を有する合理的な商品で、コンクリートと一体化したデッキ合成スラブは鉄骨造建築の標準的な床工法として普及しており、今後は木造建築の床への展開、普及も期待されています。

未来の安心を足元から

JFE 建材は、デッキプレートのパイオニアとして、建設現場を想い、お客様の一番近くにありたい。床商品を通して、あらゆる建築物に新しい価値を提供するため挑み続けます。

〔本件に関するお問い合わせ〕

JFE 建材株式会社 (販売) 建築建材商品営業部
(技術) 建築技術部

■お問い合わせフォームにご連絡ください。

お問い合わせフォーム →

